

2001 年度 経済学特別講義 : 期末試験

2001 年 7 月 9 日(月)

< 注意 >

以下の 5 問のうち 4 問を選択して解答すること。配点は各問 25 点で、合計 100 点。

< 問題 >

[第 1 問] コメ市場の供給曲線と需要曲線が次のように表せるものとする。

$$P=10+5S \quad \text{供給曲線}$$

$$P=150-2D \quad \text{需要曲線}$$

ただし、 P はコメの市場価格、 S はコメの供給量、 D はコメの需要量である。このとき、以下の設問に答えなさい。

均衡における価格、取引量、消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰を計算しなさい。(5 点)

政府が農家の保護を目的に、生産者からの買い取り価格を均衡価格よりも 50 だけ高く設定している。このときの供給量を計算しなさい。(5 点)

コメの余剰・不足が生じないようにするためには、消費者への販売価格をいくりに設定すればよいか。計算しなさい。(5 点)

政府が および のような政策を採用しているときの消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰を計算しなさい。(10 点)

[第 2 問] 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1999 年末時点で、中央政府と地方政府を併せた日本の公的部門の借金（負債残高）は約 618 兆円に達している。この数字を人口で割れば、国民一人あたりで約 490 万円、世帯数で割れば、一世帯あたり約 1,350 万円になる。1999 年における、国民一人あたりの所得が約 405 万円、一世帯あたりの所得が約 1,120 万円であるから、1 年間の収入を超える金額が⁽¹⁾国民の負担となって重くのしかかっていることになる。とりわけ、借金返済の負担は将来世代へツケとして残され、⁽²⁾世代間の不公平が拡大する恐れが強い。

下線部(1)の「国民の負担」という表現は適切か。内国債と外国債の違いに触れながら、解説しなさい。(5 点)

下線部(2)にあるような「世代間の不公平」が生じる理由を説明しなさい。(10 点)

「世代間の不公平」を是正するメカニズムを 2 つ書き、簡潔に説明しなさい。(10 点)

[第 3 問] 課税後所得の $m \times 100\%$ が消費され、政府支出の乗数効果が 4 だとする。投資や輸出入が変化しないものとして、以下の設問に答えなさい。ただし、根拠ないし計算過程も示すこと。

m はいくつか。(5 点)

このとき、減税の乗数効果はいくつか。(5 点)

政府支出をすべて増税で賄う場合、乗数効果はいくつになるか。(5 点)

政府支出の半分を増税で、残りの半分を借金で賄う場合、乗数効果はいくつになるか。(10 点)

[第 4 問] 以下の用語の意味を簡潔に説明しなさい。(各 5 点)

自然独占

合計特殊出生率

全要素生産性

外部性

フロー

[第 5 問] 以下の設問に答えなさい。

公共財を私的財と区別するための 2 つの特徴を説明しなさい。(各 5 点・計 10 点)

上の 2 つの特徴を軸に、具体例を挙げて財を分類しなさい。(5 点)

公共財の供給を市場に任せると、どのような事態が生じると考えられるか。具体的に説明しなさい。(10 点)